



井上 佳郎 議員

消防団を中核とした 高島市の防災力の充実 強化について

問

**機能別消防団員の編成に向けて、
どのような取り組みを進めている
のか**

答

消防団員数が減少傾向にある中で、消防団と十分協議を行い、機能別消防団員の在り方について検討していきたいと考えています

問

機能別消防団員の編成に向けて、どのような基準や方針を持ち、どのような取り組みを進めているか。

答
消防長

現状では具体的な基準や方針はありませんが、消防団員数が減少傾向にある中で、特定の活動のみに参加する機能別消防団員を活用することについて、消防団員確保の手段として有効な方策の一つであると考えており、消防団と十分協議を行い、他市町の事例等を調査し、機能別消防団員の在り方を検討していきたいと考えています。

その他の質問

滋賀デスティネーションキャンペーンを活用した、発酵のまち高島としての観光誘客施策について

問

減少に伴う地域防災力への影響についての見解は。

答
消防長

団員の減少によって考えられる影響として、火災時における人員不足による初動の遅れや延焼の拡大、地震や集中豪雨といった大規模災害時における避難誘導や救助活動など対応能力の低下が挙げられます。

答
消防長

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を踏まえて、高島市消防団の役割や位置付けは何か。



消防団は各地域の共助の中心的役割を担いながら、市の機関としての公助の側面を併せもち、住民と行政、共助と公助をつなぐ位置付けにある

域の防災力を維持する上でも課題となると考えられます。

問 現在の消防団員数の推移と、その減少要因についてどのように認識しているか。

答 消防長 団員数は、合併当初から平成29年までは、一定の団員数を維持していましたが、それ以降は減少傾向が続いており、現在の団員数は、定数が560人で、本年の4月1日現在で453名です。団員の高齢化、市外で就業されている方など職場と消防団活動の両立が困難な方や若年層の加入の低下が主な減少要因と認識しています。

また、平時においても、地域の防災訓練の指導や防火啓発活動を通じ、住民の防火意識を高める重要な役割を担っており、団員の減少は、地域全体の共助の基盤を弱め、地